|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ４年 | 12 | 小数×整数、小数÷整数 | 組　　　番  名前（　　　　　　　　　　　　　） |



次の問いに答えましょう。

　①　筆算でしましょう。　　　　　　　　　　　　　　　②　白いテープの長さは５ｃｍで、赤いテープの

　　０．６７

×　 ２５

２１７

２．７

６２

２１７

０

　　㋐　　　　　　　　　㋑　　　　　　　　　　　　　長さは１２ｃｍです。赤いテープは白いテープ

の長さの何倍ですか。式と答えをかきましょう。

　　　３３５

１３４

１６.７５

１２÷５

式（　　　　　　　　　　　　）

２．４

答え（　　　　　）倍



宮崎県は、大根のが日本一で、国富町は、県内で一番の生産量

です。冬には、写真のような干し（たな）に、千切りにした大根をしきつ

めるようすがあちらこちらで見られます。

わたしのおじいちゃんとおばあちゃんは、田んぼに干し棚を作って切干大根を作っています。干し棚の広さについて、おじいちゃんとおばあちゃんに聞いてみました。

しずか



わたしの干し棚は、たてが１．２ｍ、

横が１８ｍで、同じ棚が２つあるよ。



わたしの干し棚は、たてが１．５ｍ、

横が１０ｍで、同じ棚が３つあるよ。

　しずかさんは、おじいちゃんとおばあちゃんの干し棚の広さでは、おじいちゃんの面積の方が広いと考え、そのわけをせつめいすることにしました。



〔しずかさんのせつめい〕

おじいちゃんの干し棚の１つ分の面積は、１．５×１０＝１５だから、１５ｍ２です。

同じ棚が３つあるので、１５×３＝４５だから、４５ｍ2です。

（１）〔しずかさんのせつめい〕につづけて、おばあちゃんの干し棚の面積をもとめ、おじいちゃんの面積の方が広いことをせつめいしましょう。

（例）おばあちゃんの干し棚の1つ分の面積は、１．２×１８＝２１．６だから、２１．６ｍ２

です。同じ棚が２つあるので、２１．６×２＝４３．２ｍ２です。

　だから、４５－４３．２＝１．８で、おじいちゃんの干し棚の方が１．８ｍ２広いです。

　食で、切干大根を使ったメニューに出たとき、先生が次のように話をしました。



生の大根100ｇを干すと、約８ｇになるそうだよ。大根は、ほとんど水分でできているんだね。

生の大根の重さは、干した大根の重さの何倍になっているのかな。

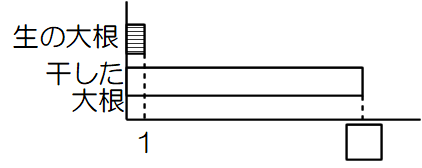
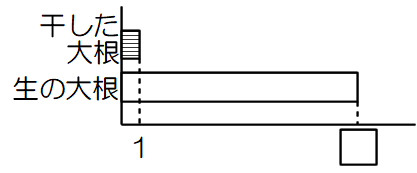
（２）しずかさんは、下線の部分の先生のしつ問に答えるために、図と式をつくって考えました。

　　　次のア～エから正しいものを１つえらび、記号に○をつけましょう。

　 ア　　　　　　　　　　　イ　　　　　　　　　　 ウ　　　　　　　 　　 エ

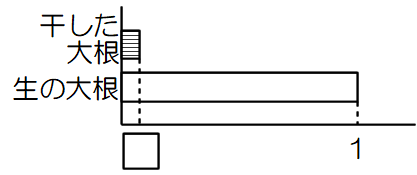
100÷8＝12.5

だから、12.5倍



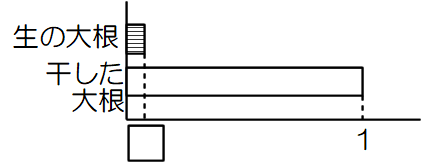
100÷8＝12.5

だから、12.5倍



8÷100＝0.08

だから、0.08倍



8÷100＝0.08

だから、0.08倍